

## H24年度風力発電検討部会(委託調査概要)

調査項目	調査結果
許認可調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆農業地域であるため、農地法における農地転用が適用される</li> <li>◆農用地区域内であるため、農振法における農振解除が適用される</li> <li>◆県立自然公園の普通地域であるため、届出が必要</li> </ul>
輸送路調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ブレード、トップタワー、ミドルタワー、ナセルは、支障物の移転や特殊車両での輸送により既存の想定ルート（東津野城川大規模林道東線～天狗トンネル経由）からの輸送が可能</li> <li>◆最も径の大きいボトムタワーは天狗トンネルの通行が困難</li> <li>◆別ルート（東津野城川大規模林道西線～県道383号四国カルスト公園縦断線）を利用</li> <li>◆特殊車両（トランスポーター）の使用により輸送可能</li> <li>◆総重量約80ton以上に及ぶため、路肩補強や道路拡幅が必要</li> </ul>
送電線ルート策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆四国電力第5黒川発電所の連系可能容量22MW</li> <li>◆66kV連系送電線のルートを机上検討</li> <li>◆架空送電と地中送電を併用することで、経済性と景観面に考慮</li> <li>◆全て地中送電線の場合、亘長約12km</li> </ul>
事業検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆1:2500の地形図を作成し、風車の配置レイアウトを作成</li> <li>◆風車組立エリアとして1箇所2,200m<sup>2</sup>のフラットエリア造成図を作成</li> <li>◆切盛土量は、約4万m<sup>3</sup></li> <li>◆風車基礎のコンクリートは、1基あたり約600m<sup>3</sup></li> <li>◆22kV構内電線路を地中埋設ケーブルにすることで、景観とメンテナンス面にメリット</li> <li>◆連系変電所は、約230m<sup>3</sup></li> </ul>
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事業コスト算出、総事業費49億円</li> <li>◆プロジェクトIRRでの評価により、一定の採算性を確認</li> </ul>